

# 未来 ひだか

みらくる



2011年4月

日高農業改良普及センター

## 関係機関との連携で組織的な課題解決を推進 ～「地域力」を醸成する活動をめざして～

日高には恵まれた気象条件と、豊富で多彩な地域資源があります。普及センターではこれらを活かし、日高が「担い手が残る、残れる地域」として活性化していくために、地域として農業を持続させるための新たな仕組みや、実情に応じた新たな作目の導入、アグリビジネスへの取り組みなど、関係機関そして農業に関わる方たちと互いに意見を出し合い、豊かで活力ある地域づくりに取り組んでいきます。

### 平成23年度 日高農業改良普及センター活動体制



# 重点課題 H23年度の概要

昨年から新たにスタートした5つの重点課題です。2年目に入り、地域の方たちや関係機関と、どのような事を実証し、取り組んで行くのかを紹介します。



## 新規作目の定着による経営の安定化と 元気で明るいむらづくり

【新ひだか町 西川地区】

軽種馬から黒毛和種への経営転換や複合化を図った経営の草地管理技術や肉牛の飼養管理技術の改善に取り組みます。

昨年設置した「採草地の雑草対策実証ほ」で、強害雑草であるトウワックス対策を実証・展示します。

## 地域資源を活かした持続的農業の展開

【新冠町 太陽地区】

良質粗飼料を確保するため、草地の植生等の追跡調査を行い、草地更新を推進します。

たい肥の有効活用に向けて、肉牛の2年目たい肥をピーマン栽培に利用する実証と、地区内のたい肥活用システムについて検討します。



## 地域を支える多様な経営体育成と支援

【浦河町 富里地区】

水稻の育苗管理の改善や適正な水管理技術の向上を図り、売れる米づくりの実践と普及を推進します。

黒毛和種の健康な子牛生産を目指し、繁殖牛の飼養管理技術の改善に取り組みます。

夏秋どりいちごの栽培技術向上のための支援を行います。



## 地域農業を支える経営体質の強化

【平取町 貫気別第4農事組合】

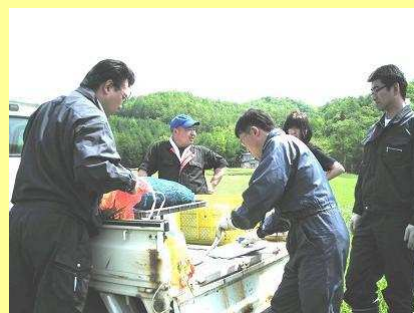
トマトの基本的な栽培技術の向上を支援し、収量および品質の高位平準化を図ります。

施設野菜の問題となる土壌病害防除対策を実証・普及し、平取農業の持続的発展を支援します。

## 高齢化した水田転作地帯の 農家経営安定化推進

【日高町 日高地区】

和牛素牛の栄養管理技術の向上を継続して支援し、経営の安定化を図ります。トマトの生産性維持と日高特産野菜の直売所販売を支援します。



# 経営に役立てよう！ 知っ得情報（＾＾）V

## 1.和牛繁殖経営の技術診断シートを活用しよう

普及センターでは和牛経営の改善に活用できるツールが少ないため、平成21～22年度に畜産担当職員が協議を重ねて、技術診断シートを開発しました。

このシートでは、繁殖・育成台帳の作成や育成牛の体重測定データを定期的に入力することにより、わかりやすいグラフでデータが表示され、管理状況の現状把握がしやすくなっています。

また日頃の管理について見直し、問題点改善の目標を立てやすいように「飼養環境・管理チェックリスト」がついています。

新しい記帳方法を試してみたい方、是非活用してみませんか？

＜シートのグラフ表示例＞

平成23年03月11日 **和牛繁殖経営における技術診断シート** 日高農業改良普及センター

**入力メニュー**

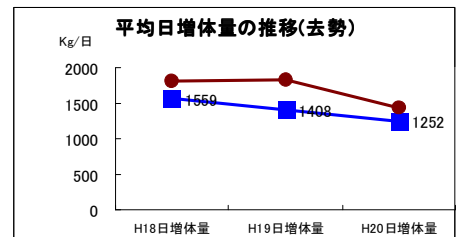
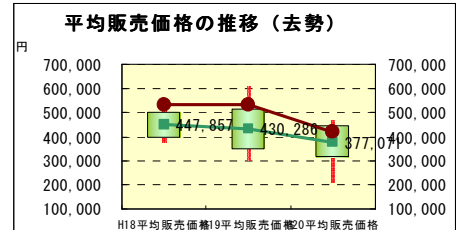
- 繁殖台帳入力
- チェックリスト入力
- 発育測定結果入力(去勢)
- 発育測定結果入力(メス)
- 発育測定結果入力(保留牛)
- 保存

**現状分析メニュー**

- 育成牛管理状況の現状分析
- 繁殖牛管理状況の現状分析
- 印刷メニューへ

**資料メニュー**

- 黒毛和種系統図早見版
- 黒毛和種育成牛管理プログラム
- 黒毛和種繁殖牛管理プログラム



## 2. コガネムシ類の被害と対策

平成20年以降、日高管内各地で、牧草地でのコガネムシ類による被害が目立つようになりました。特に牧草に大きな被害を与えるスジコガネ、ツヤコガネの発生が多く、去年は日高管内の草地368haで被害を確認しています。

幼虫が根を食害するため牧草は生育不良になり、機械作業時に根茎がはく離したり、カラス、ムクドリ、キツネ、クマなどの動物が幼虫を捕食しようとして根をはがすなど、草地が荒らされ、採草地では生産性は著しく低下します。

幼虫類に対する薬剤防除は、登録農薬がないため実施できませんが、パワーハロやロータリハロによる耕うんはコガネムシ幼虫類に傷害を与えるため、密度を低下させる効果が期待できます。被害が甚大な草地では、更新の検討も必要です。

＜幼虫密度抑制対策＞	＜成虫の殺虫対策＞
<b>【機械耕うん】</b> ・殺傷率：1回20% ・実施時期：6月上旬～10月中旬 (幼虫は冬期間土中深く潜ってしまうため)	<b>【誘蛾灯による捕虫】</b> ・誘蛾灯の購入と維持にコストを要する ・誘引後の殺虫対策の検討が必要

北海道における牧草を加害する主なコガネムシ類とその特徴

種類	成虫の加害植物	幼虫の加害植物	世代交代	牧草地における重要度	その他特徴
スジコガネ	針葉樹の葉	各種農作物・苗木の根	4年に1回	大	—
ツヤコガネ	広葉樹の葉	各種農作物・苗木の根	4年に1回	大	—
ナガチャコガネ	各種植物の葉	苗木・茶・ハスカップ・牧草等の根	1年に1回	小	灌木付近の草地に多い
マメコガネ	各種植物の葉	イネ科牧草・野草等の根	3年に1回	小	放牧地・ゴルフ場に多い



▲コガネムシ類成虫



▲コガネムシ類幼虫



### 3. 「水稻いもち病」撲滅に向けた総合的予防対策の推進

平成22年度の葉いもち病・穂いもち病の発生面積は、過去30年で最も多くなっています。北海道産米の安定生産と流通を確保するため、平成23年産米のいもち病対策は、発生予防・察対応型防除から、総合的防除を推進することになりました。

防除の基本は、直接減収につながる「穂いもち」の発生を抑えるために、まず、「葉いもち」の発生を抑えることが、第一です。

「葉いもち」が早期に発病した圃場では、「苗いもち」発生の可能性が指摘されています。

6月から「葉いもち」の調査を行い、1株でも発病株を発見したら、その時点で薬剤散布を開始しましょう。



#### ＜総合的予防対策とは＞

- ①種子消毒 ～化学合成農薬・温湯消毒・生物農薬によって伝染源となる種子を消毒します。
- ②育苗箱施用 ～病原菌の薬剤耐性菌が広く分布しているため、施用剤には効果のある薬剤を選びます。
- ③水面施用 ～葉いもちには初発10日前後頃、穂いもちには出穂の10~20日前頃に施用します。
- ④基幹防除 ～出穂期の散布は重点とし、多発時には追加防除を行います。

### 職員の異動がありました

平成23年4月1日付け

#### よろしくお願ひします

【本所】			
次長	木戸 好文	上川農業改良普及センター	大雪支所
地域係長	鈴木 康義	釧路農業改良普及センター	釧路中西部支所
専門普及指導員	松田 修	宗谷農業改良普及センター	本所
【西部支所】			
支所長	吉岡 宏直	空知農業改良普及センター	中空知支所
専門普及指導員	斯波 知香子	石狩農業改良普及センター	本所
専門普及指導員	福原 比奈子	胆振農業改良普及センター	東胆振支所

#### お世話になりました

【本所】			
次長	原田 要	農政部技術普及課技術普及室	中央農試駐在 上席普及指導員
地域係長	寺田 志郎	空知農業改良普及センター	中空知支所 調整係長
普及指導員	岡山 誉幸	十勝農業改良普及センター	十勝南部支所 専門普及指導員
【西部支所】			
支所長	中谷 佳一	退職	
		(再任用：空知農業改良普及センター 本所)	専門普及指導員
支所次長	近藤 均	空知農業改良普及センター	中空知支所 支所次長
専門普及指導員	村 有紀重	胆振農業改良普及センター	東胆振支所 専門普及指導員

日高農業改良普及センター本所 TEL 0146-42-1489 FAX 0146-42-2521  
〒056-0005 日高郡新ひだか町静内こうせい町2丁目2番10号

日高農業改良普及センター日高東部支所 TEL 0146-22-9347 FAX 0146-22-2559  
〒057-8558 浦河郡浦河町栄丘東通56号 日高振興局内

日高農業改良普及センター日高西部支所 TEL 01457-2-2055 FAX 01457-2-2918  
〒055-0107 沙流郡平取町本町105-6